令和４年度学校給食費無償化に関するアンケート集計結果

富士吉田市教育委員会
学校給食センター

富士吉田市では、令和元年 10 月に学校給食費の無償化を開始しました。学校給食費無償化では、小学生 月額 5,040 円、中学生 月額 5,565 円程度、児童生徒の給食費として１年間で約１億６千万円の費用を市で補助しています。

学校給食費無償化事業の開始から３年が経過し、学校給食費無償化に対する保護者の意見等を把握するため、アンケートを実施いたしました。

アンケート調査の結果について、以下のとおり報告いたします。

【 対 象 者 】　市立小学校７校　６年生児童保護者　370 名
市立中学校４校　３年生生徒保護者　396 名
合計　766 名

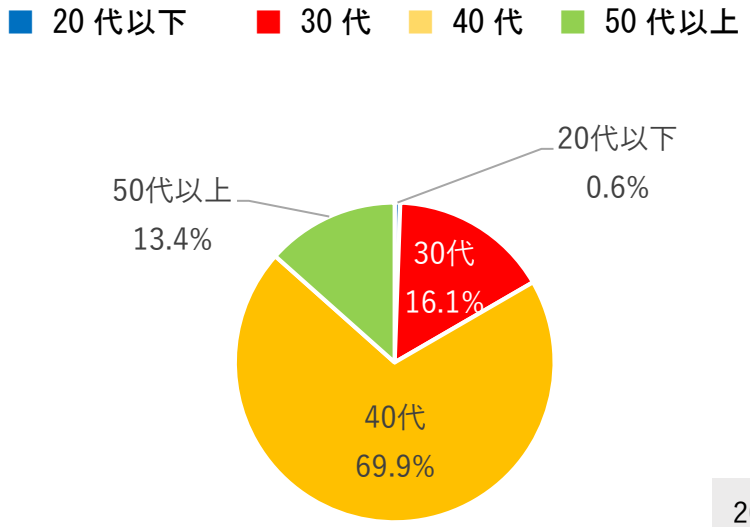
【 実 施 時 期 】　令和４年 10 月３日～令和４年 10 月 31 日（保護者〆切）

【 実 施 方 法 】　各校のあいシステムを活用し、アンケート URL を送付
上記の方法が難しい場合は、紙媒体を担任教諭を通じ配布・回収

【 回 答 率 】

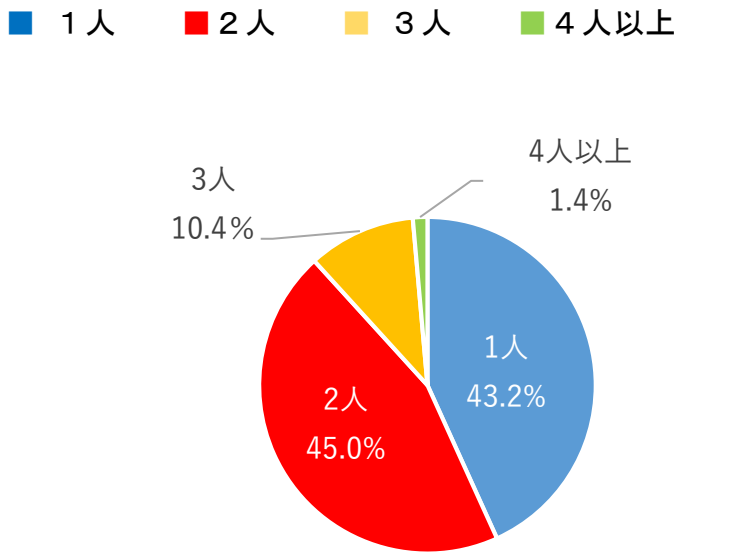
	対象者数	回答者数	回答率	参考：R3 年度回答
小学校　計	370	359	97.0%	95.8%
中学校　計	396	356	89.9%	93.1%
小中学校　計	766	715	93.3%	94.5%

問１　回答される方の年代を教えてください。



20 代以下	4 人 / 715 人
30 代	115 人 / 715 人
40 代	500 人 / 715 人
50 代以上	96 人 / 715 人

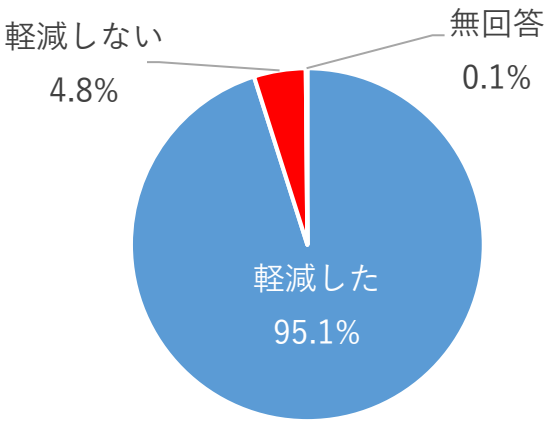
問２　現在、富士吉田市立の小中学校に在籍しているお子様は何名ですか？



子供１人	309 人 / 715 人
２人	322 人 / 715 人
３人	74 人 / 715 人
４人以上	10 人 / 715 人

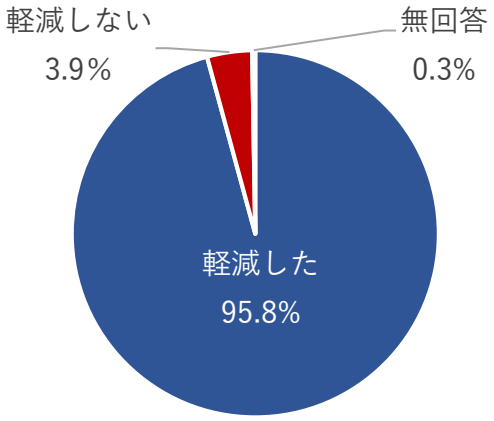
問３　給食費が無償化となったことにより、経済的負担は軽減されましたか？
また、軽減しないと回答された方は、その理由も教えてください。

■ 軽減した　■ 軽減しない　■ 無回答



軽減した	680 人 / 715 人
軽減しない	34 人 / 715 人
無回答	1 人 / 715 人

参考：令和３年度回答



軽減した	701 人 / 732 人
軽減しない	29 人 / 732 人
無回答	2 人 / 732 人

【軽減しないと回答された方の主な理由】（抜粋）

- **物価高になり**実感がわかない　１５件
- それ以外にもお金がかかる　１２件
- コロナ禍で収入が減ったため　３件
- 少額のため、等　その他　３件

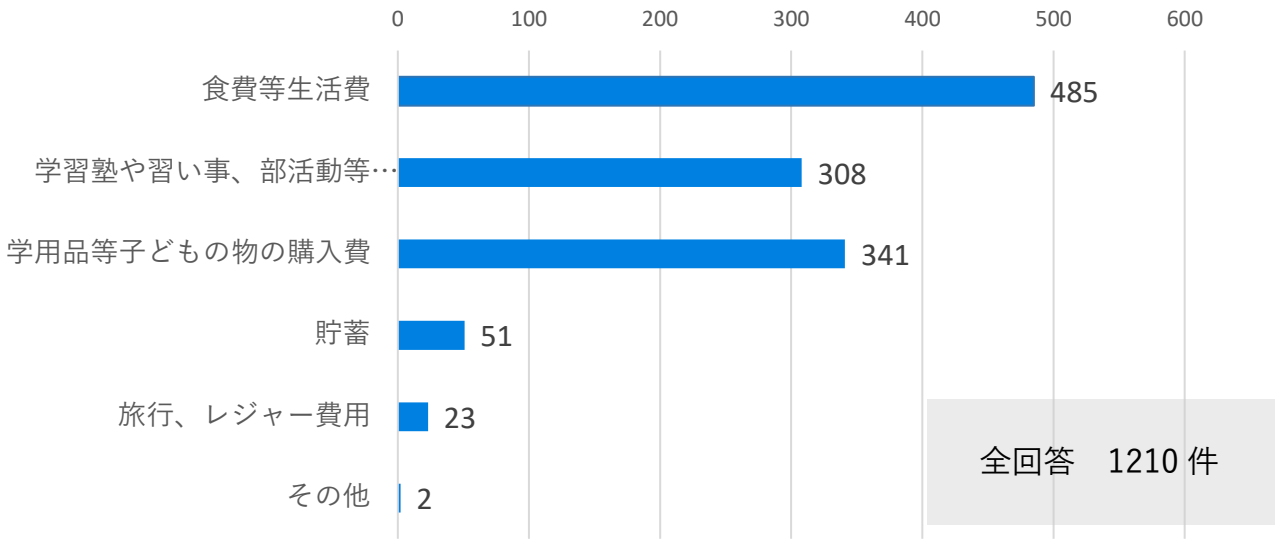
参考：令和３年度　軽減しないと回答された方の主な理由

- それ以外にもお金がかかる　１１件
- あまり変わらない、特に実感がない　７件
- 経済的負担になる金額ではないので、等　その他　１０件

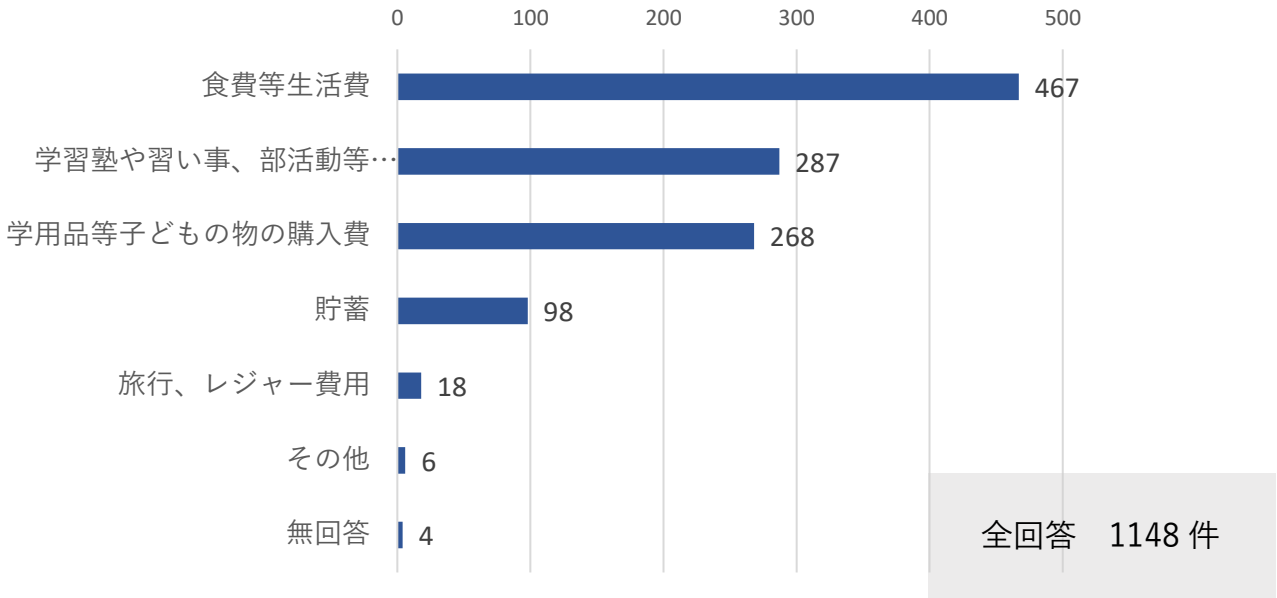
問３　まとめ

　回答された方の 95%以上が、給食費無償化により経済的負担が軽減されたと感じており、令和３年度結果とほぼ同じ結果でした。
　ただ、「経済的負担が軽減しない」と回答された方の主な理由では、今年度、「物価上昇」のためという回答が約半数を占めており、昨今の光熱水費の高騰や食料品の値上がりなどが家計へ影響していると思われます。

問４　給食費が無償化されたことにより、給食費に充てていた費用はどのようなものに活用できるようになりましたか？（複数回答可）



参考：令和３年度回答



【その他の意見】

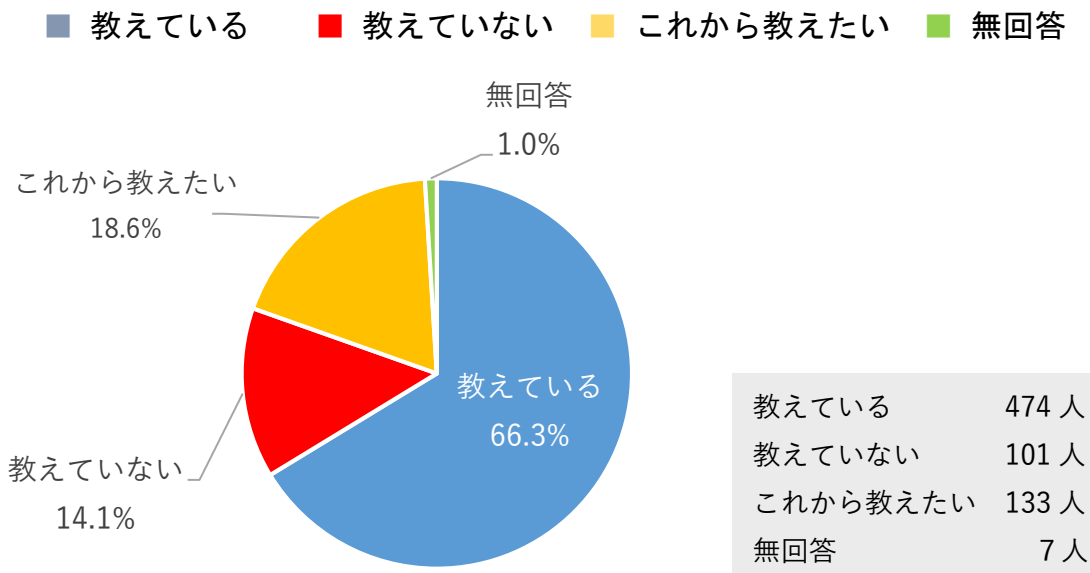
- 私学の昼食代　　１件
- 高校の学費・進学等の費用の積立　　１件

問４　まとめ

保護者の方が負担していた費用については、回答の半数近くが「食費等生活費」に充てており、次いで、「学習塾や習い事、部活等」「学用品等子供の物の購入費」が多く、給食費に充てていた費用は、子供のために有効に使われているといえます。

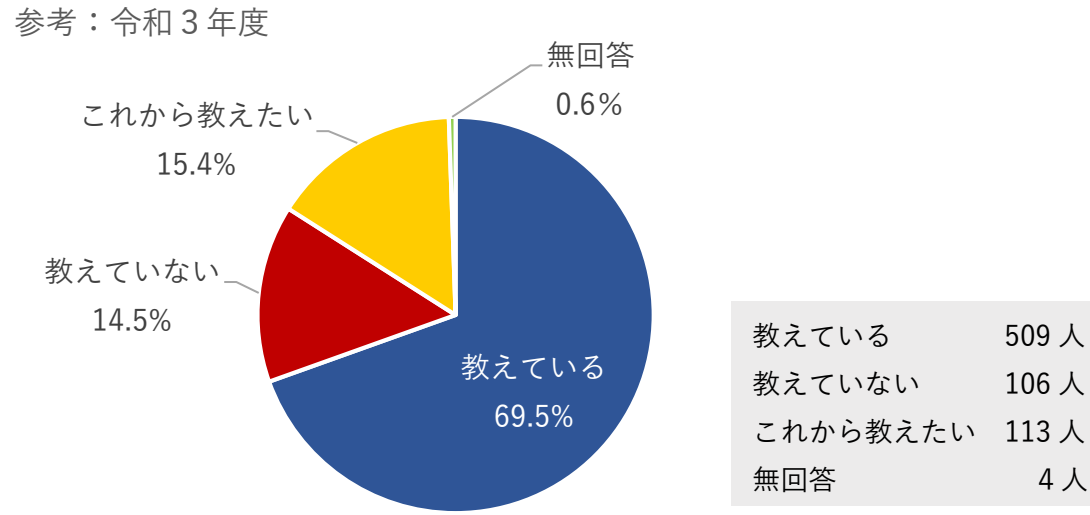
この設問の回答についても、昨年度とほぼ同様の結果でした。

問５　お子様に学校給食費が無償化されていることを教えていますか？



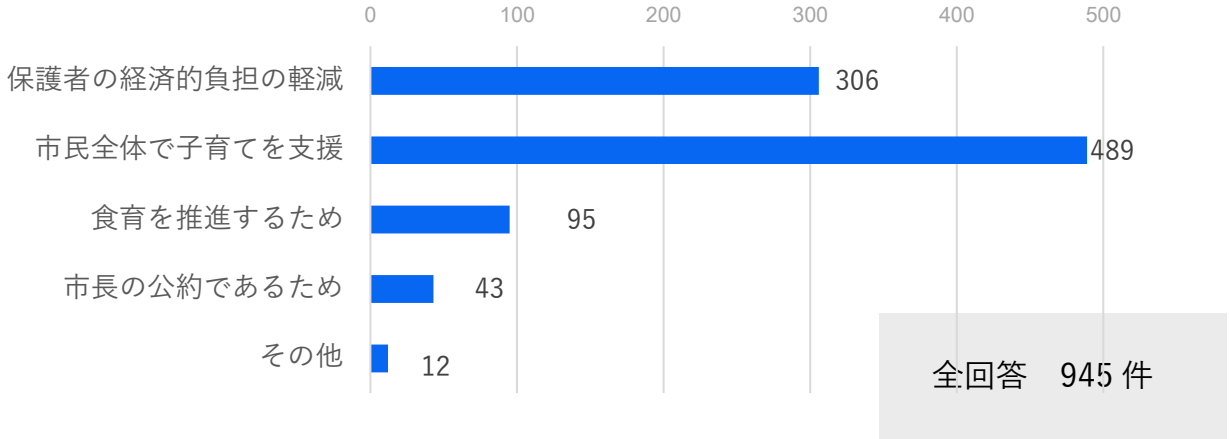
教えている	474 人 / 715 人
教えていない	101 人 / 715 人
これから教えたい	133 人 / 715 人
無回答	7 人 / 715 人

参考：令和３年度



教えている	509 人 / 732 人
教えていない	106 人 / 732 人
これから教えたい	113 人 / 732 人
無回答	4 人 / 732 人

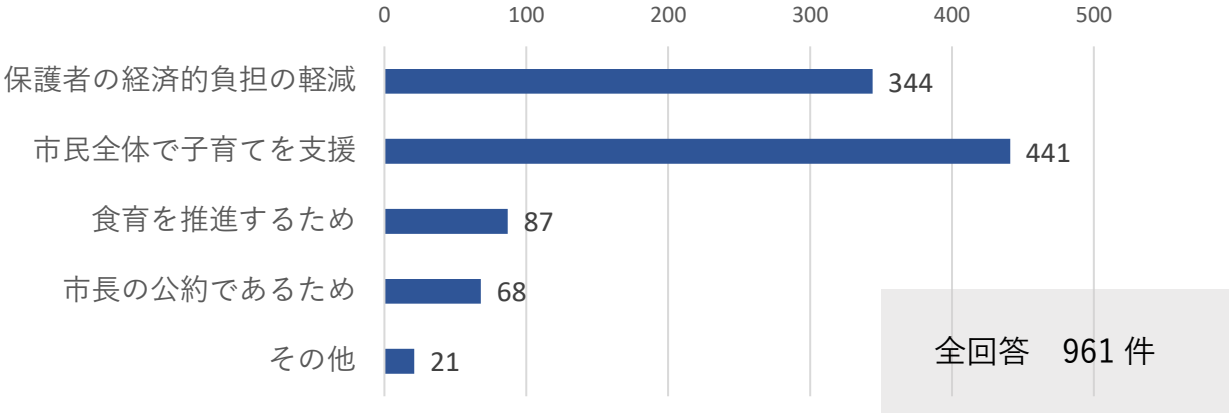
問６　問５で「教えている」「これから教えたい」と答えた方にお尋ねします。
給食費が無償化になった理由をどのように説明していますか？
または、どのように説明したいと考えますか？（複数回答可）



【その他の意見】（抜粋）

- 特に理由までは教えていない　６件
- ふるさと納税額が良かったから、財政に余裕があるから　４件
- 税金を納めている市民の為に使ってくれているという事　１件
- 学校より配布された書類　１件

参考：令和３年度回答



参考：令和３年度　その他の意見

- 特に理由までは教えていない　８件
- ふるさと納税額が良かったから、財政に余裕があるから　４件
- 無償化に関するお手紙を見せた　１件

問５・６　まとめ

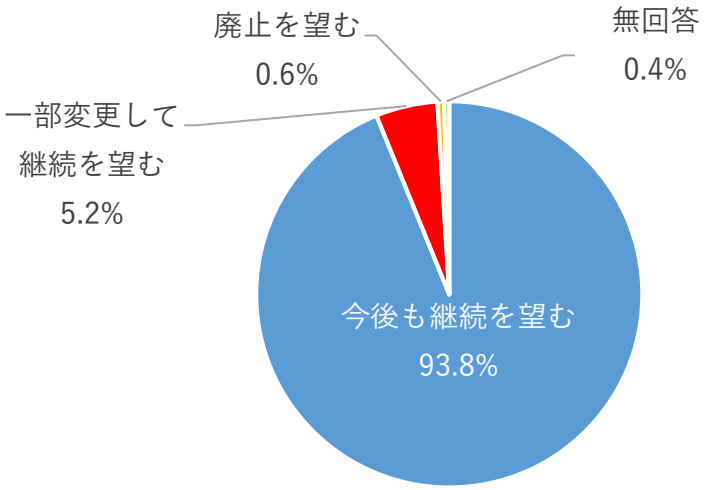
子どもに対して給食費が無償化であることを「教えている」、または、「教えたい」と考えている保護者の方は全体の約 85%となっており、多くの家庭で、給食費無償化について話を行っていることがわかります。

また、その理由として、「市民全体で子育てを支援するため」「保護者の経済的負担を軽減するため」と回答している方が大部分であり、給食費無償化が地域の住民の皆さんの支援により成り立っていることや、納税の大切さを子どもたちへ教育する契機となっていると思われます。

また、問５・６の回答についても、昨年度の結果と同様でした。

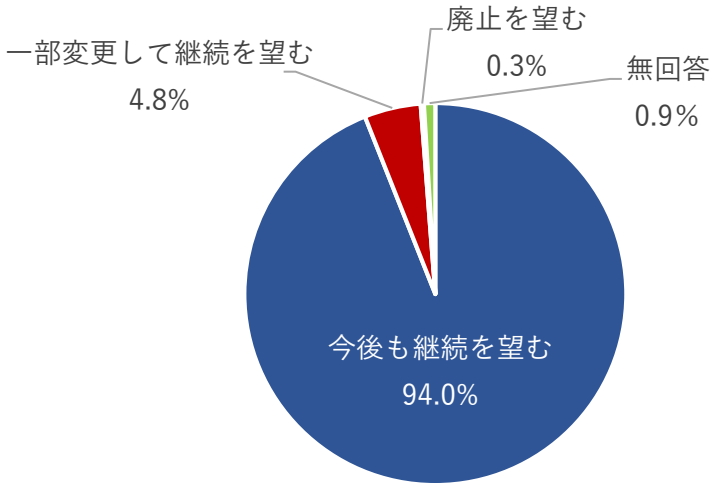
問７　現在、実施している給食費無償化について、あなたの考えに近いものを、次の中から１つだけお答えください。また、その理由も回答ください。

■ 今後も継続を望む　■ 一部変更して継続を望む（一部保護者負担を設ける）　■ 廃止を望む　■ 無回答



継続を望む	671 人 / 715 人
一部変更して継続	37 人 / 715 人
廃止を望む	4 人 / 715 人
無回答	3 人 / 715 人

参考：令和３年度



継続を望む	688 人 / 732 人
一部変更して継続	35 人 / 732 人
廃止を望む	2 人 / 732 人
無回答	7 人 / 732 人

問７　まとめ

現在、実施している給食費無償化について、「今後も継続を望む」と考える方は全体の約 94%であり、「一部変更して継続を望む」と考える方は約 5%、「廃止を望む」方は 1%以下でした。この結果は、昨年度とほぼ同じ内訳であり、昨年度に引き続き、大部分の方がこの事業の継続を希望しています。

継続を望む方の理由の大部分が、「経済的負担が軽減される」でしたが、その回答の内の約３割（78 件）が、「物価上昇で少しでも負担が減り助かります。」「色々な物が高騰化し生活が厳しい」など、物価高騰について触れており、昨今の食材や光熱水費等の値上がりが各家庭へ大きく影響していることがわかりました。

「一部変更して継続を望む」と回答している方は、全体の約５パーセントでしたが、市の財政が厳しい、品質を保つため、など負担の理由が明確であれば、止むを得ないと考える方が半数でした。「収入に応じ保護者が負担すべき」との回答もありましたが、「継続を希望する」と回答する方の中には、この意見を不公平と考える方もおり、意見が分かれるようです。

その他、私学の昼食費の補助を希望するご意見や、食物アレルギー等により給食を喫食出来ない場合について、補助の恩恵が受けにくいとのご意見がありました。富士吉田市では、富士吉田市立小中学校以外に通学する児童生徒についても、給食費や持参したお弁当の費用に対し、市立小中学校と同等の補助を行っています。また、食物アレルギー対応や疾病のために、お弁当を持参している場合についても、持参したお弁当の回数に応じ補助を行っています。こちらの制度についても、今後はより多くの方に認知いただけるよう、周知していきたいと思います。

■ **富士吉田市立学校以外の小中学校に通学する児童生徒の給食費等への補助**

小学校　１食あたり上限 240 円
中学校　１食あたり上限 265 円
×　給食や持参したお弁当を喫食した日数

※ 対象者は富士吉田市に住民票がある児童生徒の保護者
※ 市立学校以外の小中学校…私立・公立の小中学校、特別支援学校の小中等部
※ 昼食を要した日数については、富士吉田市立小中学校のその年の学校給食提供回数の平均を上限とします。

■ **食物アレルギーを有する児童生徒のお弁当に対する補助**

小学校　１食あたり 240 円
中学校　１食あたり 265 円
×　持参したお弁当を喫食した日数

※ 対象者は富士吉田市に住民票がある児童生徒の保護者
※ 医師の診断による「学校生活管理指導表」や診断書等の提出が必要となります。食物アレルギー対応の場合は、学校の先生、栄養教諭、給食センターの管理栄養士、保護者と面談を行い、完全弁当の対応となった場合が対象です。